

科目	機械力学I (Dynamics of Machinery I)		
担当教員	尾崎 純一 教授		
対象学年等	機械工学科・4年D組・前期・必修・1単位(学修単位I)		
学習・教育目標	A2(20%) A4-M3(60%) A4-M4(20%)	JABEE基準1(1)	(c),(d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	3年の工業力学に引き続いて動力学と振動の基礎について学習する。また、工業力学全般の演習を行い、力学に対する基礎力向上を図る。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A2】運動量、力積、運動量保存則の概念を理解し基本的な問題を解くことができる。		運動量と力積、運動量保存則の概念を理解したかどうか試験、レポートで評価する。
2	【A4-M3】振動の基本的事項を理解し、基本的な問題を解くことができる。		振動の基本的事項である周期、振動数、固有振動数を理解できたかどうか試験、レポートで評価する。
3	【A4-M4】簡単な衝突の現象を理解し基本的な問題を解くことができる。		衝突の現象を理解できたかどうか試験、レポートで評価する。
4	【A4-M4】仕事、エネルギー保存則の基本的事項を理解し、簡単な問題を解くことができる。		仕事、エネルギー保存則の基本的事項を理解できたかどうか試験、レポートで評価する。
5	【A4-M4】工業力学全般について基本的事項を理解し、簡単な問題を解くことができる。		工業力学全般について基本的事項を理解し、簡単な問題を解くことができるかどうか試験、レポートで評価する。
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験85% レポート15% として評価する。試験成績は中間試験と定期試験の平均点とする。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	「詳解 工業力学」：入江敏博著（理工学社）		
参考書	「工業力学」：青木弘・木谷晋著（森北出版） 「工業力学」：吉村靖夫・米内山誠著（コロナ社） 「ポイントを学ぶ工業力学」：鈴木浩平・真鍋健一編（丸善） 「工学系の力学」：末益博志ほか（実教出版） 「ビジュアルアプローチ 力学」：為近和彦著（森北出版）		
関連科目	工業力学（3年）、機械力学II（4年）		
履修上の注意事項	本授業は3年で学習する工業力学の続きであるため、3年で履修した内容をよく復習し理解しておくこと。		

